

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年4月5日(2018.4.5)

【公開番号】特開2017-176562(P2017-176562A)

【公開日】平成29年10月5日(2017.10.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-038

【出願番号】特願2016-69948(P2016-69948)

【国際特許分類】

D 0 6 F 33/02 (2006.01)

D 0 6 F 58/28 (2006.01)

【F I】

D 0 6 F 33/02 N

D 0 6 F 33/02 Z

D 0 6 F 58/28 C

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月22日(2018.2.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外槽と、前記外槽内に回転自在に配置され洗濯物を収容する洗濯兼脱水槽と、前記洗濯兼脱水槽内に給水する給水手段と、前記洗濯兼脱水槽を駆動する駆動手段と、前記外槽を支持し外装を構成する筐体と、前記洗濯兼脱水槽に乾燥用の空気を送風するための、前記洗濯兼脱水槽に向けて開口する出口と、前記外槽に向けて開口する入口と、を有する送風通路と、前記送風通路の途中に設けられた空気を加熱する空気加熱手段と、前記送風通路の途中に設けられた送風ファンと、を備え、

前記給水手段、前記空気加熱手段及び前記送風ファンを制御する制御手段を備えた洗濯乾燥機において、

前記制御手段は、前記空気過熱手段と前記送風ファンを用いて乾燥工程を実行し、

前記制御手段は、乾いた衣類を加温する熱風処理工程を前記空気過熱手段と前記送風ファンを用いて実行し、前記熱風処理工程の後に、前記給水手段により洗濯物に水を給水することで、洗濯物のダニを洗い流すことを特徴とする洗濯乾燥機。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の洗濯乾燥機において、

前記筐体内の温度を検出する温度検出手段を備え、

前記制御手段は、前記温度検出手段の温度検出結果に応じて、前記空気加熱手段と前記送風ファンを制御することを特徴とする洗濯乾燥機。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の洗濯乾燥機において、

前記空気加熱手段をヒータで構成し、このヒータは強モードと弱モードを有し、

前記空気加熱手段は、前記熱風処理工程において前記ヒータを前記強モードで運転することを特徴とする洗濯乾燥機。

【請求項 4】

請求項 1 または 2 に記載の洗濯乾燥機において、

前記制御手段は、前記熱風処理工程において、洗濯物内の最も低い温度が 50 以上で

最低で20分維持するよう、前記熱風処理工程を実行することを特徴とする洗濯乾燥機。

【請求項5】

請求項2に記載の洗濯乾燥機において、

前記制御手段は、前記温度検出手段が所定の閾値よりも高いと検出した場合、前記空気加熱手段をオフまたは加熱機能を弱めることを特徴とする洗濯乾燥機。

【請求項6】

請求項2に記載の洗濯乾燥機において、

前記制御手段は、前記温度検出手段が所定の閾値よりも高いと検出した場合、前記空気加熱手段をオフし、

前記制御手段は、前記空気加熱手段をオフしてから所定時間経過した場合、前記熱風処理工程を終了することを特徴とする洗濯乾燥機。

【請求項7】

請求項1～6いずれか1項に記載の洗濯乾燥機において、

前記制御手段は、前記熱風処理工程において、前記洗濯兼脱水槽を前記乾燥工程における回転速度よりも高い回転速度で回転するよう、前記駆動手段を制御することを特徴とする洗濯乾燥機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

このような課題を解決するために、本発明の洗濯乾燥機は、一例として、外槽と、前記外槽内に回転自在に配置され洗濯物を収容する洗濯兼脱水槽と、前記洗濯兼脱水槽内に給水する給水手段と、前記洗濯兼脱水槽を駆動する駆動手段と、前記外槽を支持し外装を構成する筐体と、前記洗濯兼脱水槽に乾燥用の空気を送風するための、前記洗濯兼脱水槽に向けて開口する出口と、前記外槽に向けて開口する入口と、を有する送風通路と、前記送風通路の途中に設けられた空気を加熱する空気加熱手段と、前記送風通路の途中に設けられた送風ファンと、を備え、前記給水手段、前記空気加熱手段及び前記送風ファンを制御する制御手段を備えた洗濯乾燥機において、前記制御手段は、前記空気過熱手段と前記送風ファンを用いて乾燥工程を実行し、前記制御手段は、乾いた衣類を加温する熱風処理工程を前記空気過熱手段と前記送風ファンを用いて実行し、前記熱風処理工程の後に、前記給水手段により洗濯物に水を給水することで、洗濯物のダニを洗い流す。